

地方公共団体	山口県美祢市
所在地	山口県美祢市大嶺町東分326番地1
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマスエネルギーの地産地消体制の構築による地域林業の経営力維持 ・コンパクトな地域循環モデル構築を端緒に地域一帯のバイオマスへの熱エネルギーシフト ・林産活動の事業量維持による地域の適正な森林整備・貴重な秋吉台の景観保全 ・森林資源の活用による秋吉台の保全を通じた新たな広域連携体制の構築 ・市民参加など多様な主体の参画による森林整備とバイオマスエネルギーの取組の推進
地域の現状・課題	<p><現状></p> <p>市内には1.7万haの人工林が広がっており、伐期を迎えた森林が全体の60%に達している。森林資源としての期待が高い一方で、木材の大径化や奥地・地形的要因で搬出に不利な場所が想定され、従来通りの収益構造の中での林業経営が難しくなっている。</p> <p>また、木材に占めるバイオマス比率も向上し、地域を管轄するカルスト森林組合の実績では全体の46%がバイオマス材となっており、材の買取価格に影響し、経営的に森林整備の事業量の維持も困難な状況である。</p> <p><課題></p> <p>バイオマス比率が高いことから、林業経営の収支の悪化が予想される中、適正な森林の管理保全をいかに維持するかが課題となる。</p> <p>また、バイオマス材については県内の発電所での需要が大きいことから、美祢市内からも市外県内各地への流通が構築されているが、今後の林業経営を考えると運搬経費の負担が少ない地域内での需要形成を図っていくことが必要である。</p>
地域が持つ資源	木質バイオマス(森林系低質材・大径材)
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマスエネルギーの地産地消システムの構築検討 ・美祢市における木質バイオマスエネルギー普及のアプローチの検討 ・木質バイオマス利用と秋吉台の保全を通じた地域循環圏構築の戦略策定
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果	<p>(環境)バイオマスボイラの段階的な普及により、各施設・事業者における化石燃料消費が削減される。</p> <p>(経済)バイオマスエネルギーの地産地消の仕組みを構築し、資源構成や現場環境の変化に合わせた新たな形の林業経営を実践することで、地域林業の経営力の維持が期待される。</p> <p>(社会)秋吉台周辺の森林の適正な管理を進めることで、秋吉台の貴重な自然・文化的景観、環境の保全が期待される。それにより地域の観光振興、交流人口拡大が期待される。</p>





景清洞トロン温泉



秋吉台



秋芳洞_百枚皿